

松葉地区災害対策協議会議事録

松葉地区地域ふるさと協議会 防災専門部会

日時:令和5年8月2日(木)午後2時~3時40分

場所:松葉第一小学校 図書室(2階)

議事次第:

【1】 主催者ご挨拶:ふるさと協議会 会長 秋元康雄

【2】 自己紹介 全員(26名)

【3】 柏市の防災体制と避難所運営について 防災安全課 石原課長、竹垣氏

- ① 松葉地区の避難所、収容人員状況の現況についての説明
- ② 避難所の防災倉庫備蓄品についての説明
- ③ 「地区対策本部連絡系統」についての説明
- ④ 町会は被災情報を近隣センターに報告するシステム
- ⑤ コールセンターが立ち上がるので、個人はセンターへ被害報告する。
- ⑥ 避難所リーダーは地区災害対策本部ではなく、学校教育部に連絡する。

【4】 防災専門部会活動実績と今後の活動について ふる協 花井部会長

- ① 避難所アンケート(付属資料ご参照)について
- ② 避難所収容余力が乏しいので、ペット優先の施策は再考の余地がある。
- ③ 在宅避難、自助・共助を地区住民に浸透させるのが防災専門部会の最大のミッションと考えている。
- ④ 避難所の中でも松2小は避難所希望者が多いので収容力強化の対策を考える必要がある。

【5】 「避難所開設手順書(松中版)」について 中村プロジェクトリーダー

- ① 松葉3校と防災部会プロジェクトチームのワークショップを数十回にわたり開催し、3者（防災安全課さん、松葉3校さん、地域活動）の意思疎通が行われたおかげで手順書が完成した。有難うございました。
- ② 「松中版」をベースに作業を進めてきたが、今後は「松1小版」「松2小版」の「避難所開設手順書」上梓を令和5年12月までに完成させる。
- ③ 「避難所運営手順書」の完成は令和6年度末を目標にしている。
- ④ 手順書表紙にQRコードを印刷し、スマホでのリアル閲覧を可能にした。
- ⑤ 防災倉庫の備品が時を追って充実しており感謝の気持ちでいっぱいです。
- ⑥ 災害用非常電話、投光器、ソーラー付き発電機などは大変重宝される器具である。防災倉庫を開けるたびにワクワク胸をおどらせている。
- ⑦ 令和2年教育委員会制定のマニュアルでは、現実に不適合の表記も見られるので、地域の実態にあったローカルルール「避難所開設手順書」、「避難所運営手順書」の上梓を急ぎたい。
- ⑧ しかしながら、個別の懸念事項については宿題が残っている。
例えば、「女性視点」「排泄物の保管」「物資の供給」「重病人の看護」「ご遺体・検死」「乳幼児」「要支援者」など。

【6】 災害時における避難所としての学校のありかた

{松葉第一小学校}角田校長

- ：松葉地区に赴任してきたの印象として、地域の中に溶け込んでいる学校、学校と地域の距離が近いという嬉しい印象をもった。
- ：教職員全員が地域の人たちと顔見知りになることが重要。

○:災害発生時に、学校として地域に何が出来るか分担を明確にしておく方策を模索していく考えである。

{松葉第二小学校} 戸塚校長

○:災害発生に備えて職員には役割分担7チームを決めた。

=総務チーム、情報チーム、施設管理チーム、食料物資チーム、
保険衛生チーム、要支援チーム、渉外チーム

○:「危機対応マニュアル」を作成して、ミッションを明確にした

○:松葉学区外の方、帰宅困難者の方などが集まり、混乱した時、教職員がチームを作って、地域と協力して旗振りすることも必要と考える。

○:東日本大震災の時は、柏市においても子どもたちを保護者に引き渡してから、避難所を開設したケースがある。

{松葉中学校} 嶋田校長

○:校長会研修会でのお話し=防犯・防災の考え方

① 子どもを一人きりにしない（地域の眼で子どもたちを守る。）

② 子どもの見守り、助け合い=助ける環境作り・雰囲気づくり

③ 身を守る（大人が守ってあげる）仕組みづくり

=そのためには「あいさつ」など普段のコミュニケーション環境を醸成することが何より大切である。

○:令和5年7月21日より令和6年2月末まで体育館改修工事を行っているが、近年の異常気象、特に猛暑対策として、体育館は住民の避難所ともなるので、冷暖房設備をこの機会に工事計画に入れていただきたい。

(7)意見交換

{柏市消防局副局長兼西部消防署} 鈴木清署長

(約15年まえ、柏市防災安全課に勤務され、松葉地区を担当された)

- ① 「手順書」は分かりやすく良く出来ている。十分な議論の跡が窺える。
- ② マニュアルは各学校単位で考えられているが、コミュニティースクール単位で発想して、中学校群としてまとめて考えた方が機動的に運営できると考える。～例えば生徒の避難所を何れかの学校一か所に集めるなどの措置
- ③ 防災にとって顔の見える地域のつながりは何よりも大切である。
～あいさつ運動、ふるさと祭りなどはコミュニケーションの大事な機会と考える。
- ④ 在宅避難者の食糧・物資配布の仕組み作り・ルール作りを急ぎたい。
- ⑤ 地域のいろいろな問題点については、地域の方々に主体的に関わり、問題解決に動いていただければ有難いと考えている。
～行政は中立的であるべき組織なので新しい挑戦には限界がある。
- ⑥ 発災時、高齢者が多い地域では、中学生、小学生高学年は災害対処、支援の必要な方の救済のための戦力になってもらうことも検討してほしい。
- ⑦ (消防署の現有戦力について)
消防車44台、救急車15台～出動の優先順位は早い者優先になっている。
消防署員の95%は、3時間以内に災害現場に集合することが出来るが、それまでは、住民の方自身で対処していただきたい。
- ⑧ 車中での避難はエコノミー症候群のリスクを考慮したうえで対策を慎重に検討していただきたい。

{花井部会長} (防災専門部会の活動について報告)

- ① 18町会共通で、安否確認の迅速化のため、確認不要の目印に門扉やベランダなどに「黄旗」を掲げることにしている。
- ② 18町会はトランシーバーで災害対策本部と連絡を取り合うことが出来るシステムが定着している。～自転車や徒歩で現地巡回する手間は省けると思う。
- ③ 各家庭で「便袋」を購入してもらい発災時に備えている。

{避難所手順書プロジェクトリーダー} 中村雅宏氏

- ④ 避難所から学校教育部に在宅避難の人数を知らせ、食料・物資の必要数は学校教育部から対策本部に連絡するという認識でいます。(確認事項)
- ⑤ 在宅避難者に必要な食糧・物資数量は町会でとりまとめて地区対策本部に連絡するのがルールと考えています。(確認事項)

{健康づくり推進委員} リーダー長 松本 文氏

- ① 災害弱者、乳幼児、妊婦などの課題が話合われていない。
- ② 松中防災訓練（令和5年3月19日実施）に参加しての印象だが、高齢者ばかりでトイレ、簡易ベット組み立ての作業訓練をやっていたが、中高校生を巻き込んで、地域一体の活動とした方がよいと思う。
- ③ 避難所定員がオーバーフローしている上に他地区の人も来られる。むしろ在宅避難の対策にもっと注力していただきたい。その場合、在宅者の物資輸送ルートがどう機能するかを詰めていきたい。
- ④ 私は「母と子の集い」を主宰しているが、防災備蓄品に、乳幼児に

関するものがない。(おむつ、ミルクなど)

{民生委員・児童委員協議会} 会長高嶋典子氏

- ① 発災時、デイサービスなどに留め置かれた人は、予備の薬を持っていない方が多い。～特に自立支援パニックなどの方は悪影響が懸念される。
- ② ペットについては、アレルギー発作の疾病を持っておられる方への配慮が重要となる。～治療を要した場合、費用の問題が発生する懸念がある。

{柏市消防局副局長兼西部消防署長} 鈴木清氏

- ① 松葉地域防災関係者の方々の取り組みには敬意を表し、柏市消防局・西部消防署としても全面的に支援したい。
- ② (鈴木署長は) 東日本大震災のとき、14日間、陸前高田に駐留した。
周囲はガレキの山で、陸上自衛隊が後片付けしてからでないと道路も通行できない状況であった。
- ③ 被災時、女性はトイレの関係で災害時でも水分を取らない傾向がある。女性自身では声を上げにくいので、地域防災活動の仕組みとして対策を組み込む必要を感じている。
- ④ 東日本震災時、東北地区の消防責任者に聞くと「津波がなければ被害はもっと減少できた。」との見解であった。
- ⑤ 阪神淡路大地震は直下型地震であり、被害範囲は縦1KM、横20KMであり、となりの大阪地区では被害が僅少であったと報告されている。地震の性質により、現象と対策を分別して考えるべきである。
- ⑥ ライフラインが切断された場合、特に水が出ない場合、避難所が長期にわた

る場合などケースバイケースに分けて研究を進めていただきたい。

- ⑦ 松葉地区防災体制が今後とも、いっそう発展されることを期待している。

{石原防災安全課長}

- ① 「避難所開設手順書」は、絵・写真入りで分かりやすいマニュアルである。
- ② 災害時は水の供給がなにより重要である。柏市では耐震貯水槽（手押し井戸）の強化に努めている。
- ③ 上下水道局では、マンホールトイレを順次、学校に設置している。。
- ④ われわれを取り巻く課題は多いが、地域住民の安全、安心の要望に応えるため、学校、関係機関、地域ふる協・町会・自治会と緊密に連携して、今後とも防災対策をすすめていく所存である。

{花井部会長}

- ① ふるさと協議会では、4か所の避難所にテント付きトイレ、（手すり付きもあり）を寄贈した。収納場所について各避難所とご相談させていただきたい。